|  |
| --- |
| **新しい社会 歴史　検討の観点から見た内容の特色** |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **観点** | **観点の内容** | **特色** |
| 内容の程度・分量 | ①全体の分量は，歴史的分野の年間標準時数に対応できるように配慮されているか。また，各単元の配当時数は適切か。 | ●本文は見開き2ページ1単位時間を原則としています。目次・さくいん，巻末資料などを除いた総ページ数は278ページで，標準授業時数135時間のうち，5単位時間の予備時間を設け，柔軟な指導計画の作成が可能です。●授業時数は，第1章に6時間，第2章に19時間，第3章に15時間，第4章に23時間，第5章に27時間，第6章に19時間，第7章に14時間を配当しており，適切な配当といえます。 |
| ②内容の程度，範囲，および文章は，生徒の発達段階から見て適切か。 | ●内容の程度，範囲は学習指導要領に示された内容を基に構成しており，文章も敬体（ですます体）を用い，平易で具体的な表現で分かりやすく記述しました。●ふりがなは，教育漢字外の漢字に，見開き2ページごとに付すことを原則に，固有名詞などの必要な箇所にも適宜付しています。また，本文だけでなく，資料ごとに付すことで，ほかの箇所で読み方を確認する必要がないようにしました。 |
| 教育基本法・学習指導要領・今日的な課題への対応 | ①基礎的・基本的な知識・概念や技能を確実に習得できるように配慮されているか。 | ●見開き1単位時間の紙面を，「興味・関心を引き出す『導入資料』→1時間を貫く問いである『学習課題』→丁寧で分かりやすい『本文』→1時間の学習課題を解決する『チェック＆トライ』」の流れで構造化し，学習内容を確実に定着できるようにしました。●歴史学習の基礎的な知識・技能を習得させる「スキル・アップ」を充実させ，学習に必要な技能を確実に定着できるようにしました。➡p.9,11,15,25,33,37,53,89,189,245,277など●学習指導要領に示された「集める」「読み取る」「まとめる」の側面から技能を活用するコーナーを設け，資料を活用する力を高められるようにしました。➡p.26,41,49,64,109,117,152など●本文等の抽象的な用語は，巻末の「用語解説」で解説し，基礎・基本を確実に理解できるようにしました。➡p.284〜289 |
| ②「歴史的な見方・考え方」を働かせるなどして，思考力・判断力・表現力を育み，「主体的・対話的で深い学び」が実現できるように配慮されているか。 | ●第1章では，学習指導要領に示された「歴史的な見方・考え方」を明示して捉えさせるとともに，学習の過程に適宜「見方・考え方」を働かせるコーナーを設け，学習を深められるようにしました。➡p.9〜13,26,32,42,46,70,165,177など●各見開きには，短時間の説明・要約などで学習内容をまとめる「チェック＆トライ」を設け，思考力・判断力・表現力を高められるようにしました。●第2〜7章の最後には「くらげチャート」「ピラミッドストラクチャ」といった，多様な思考ツールを活用して学習内容を考察する「まとめの活動」を設け，歴史学習の最後には，持続可能な社会について自分の考えをまとめる「歴史のまとめ」を設けることで，思考を整理し，学びを深められるようにしました。➡p.60〜61,96〜97,146〜147,204〜205,248〜249,280〜281,282〜283●身近な地域の歴史を調べる「地域の歴史を調べよう」では「テーマの設定」「調査」「考察」「まとめ」の流れを明示することで調査の流れをおさえ，それぞれの段階のポイントを示すことで，言語活動を効果的に行えるようにしました。➡p.14〜17,56〜57,92〜93,142〜143,200〜201,244〜245,276〜277●小集団での参加型学習を行う「みんなでチャレンジ」コーナーを適宜設け，対話的な活動を効果的に実践できるようにしました。➡p.10,22,67,111,156,215,270など●絵巻物などの実物の資料を見開きで掲載した「資料から発見！」では，対話的な活動を通して，歴史への関心を高めながら思考力・判断力・表現力を育めるようにしました。➡p.52〜53,88〜89,138〜139,174〜175 |
| ③我が国の文化と伝統の特色を広い視野に立って考え，国土，歴史に対する理解と愛情を深めるように配慮されているか。 | ●政治史や経済史に偏重することなく，文化史にも十分な紙面を割くとともに，「もっと歴史」では，神話やアイヌ文化など，現代に受け継がれている文化を扱うことで，我が国の伝統や文化に対する理解を深め，伝統や文化の継承者としての資質や能力を養えるようにしました。➡p.50〜51,54〜55,72〜73,90〜91,112〜113,140〜141など●見返しには，我が国が世界に誇れる国宝や重要文化財などを取り上げ，通史学習でも該当の文化財や世界遺産，世界の記憶，無形文化遺産にマーク（　　　　　　）を付すことで，文化財を通して，我が国の歴史に対する理解と愛情を育てられるようにしました。➡巻頭1〜巻頭2,巻末2〜巻末3など**宝****世****記****無****重**●時代や出来事のポイントとなった人物を紹介した「人物コラム」を随所に設け，人物に目を向けた歴史学習を行えるようにしました。特に，近代以降の人物には出身県を示すことで，郷土にゆかりのある人物を意識できるようにしました。➡p.47,103,164,172,212,265など |
| ④我が国の領域を正しく理解できるように配慮されているか。 | ●我が国がかかえる領土をめぐる問題について，領有の歴史的な経緯を取り上げることで，領土をめぐる問題の背景を正しく理解し，解決に向けての意識が高められるようにしました。➡p.178〜179,180〜181 |
| ⑤公共の精神に基づき，主体的に社会の形成に参画する態度を養うように配慮されているか。 | ●「地域の歴史を調べよう」では，時代や地域が異なる6事例を紹介し，「身近な地域の歴史」を学ぶことを通して，主体的に社会の形成に参画する資質や能力を養えるようにしました。➡p.56〜57,92〜93,142〜143,200〜201,244〜245,276〜277 |
| ⑥持続可能な開発目標（SDGs）といった，持続可能な社会の実現に向けた，現代的な諸課題に十分に対応しているか。 | ●教科書全体を「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」の五つのテーマで貫き，現代的な諸課題を意識しながら学習を進められるようにしました。➡巻頭3〜p.1●第7章「現代の日本と私たち」では，「持続可能な開発目標（SDGs）」を取り上げ，現代的な諸課題を理解し，課題を解決しようとする態度を養えるようにしました。➡p.271●（環境・エネルギー）現代の環境問題や，歴史上の環境保全，エネルギーの利用の変遷に関するトピックを，通史部分だけでなく「もっと歴史」でも取り上げ，環境の保全に寄与する態度を養えるようにしました。➡p.195,263,272〜273●（人権・平和）歴史上の為政者だけでなく，様々な人々の動きを重視するとともに，現代の人権問題につながる歴史（差別されてきた人々の歴史）の記述を充実させ，歴史的背景を捉えやすくしました。➡p.87,116〜117,137,187,240〜241など●（伝統・文化）アイヌ民族や琉球王国の歴史を，通史部分だけでなく「もっと歴史」でも取り上げ，多文化共生の視点を持たせられるようにしました。また，三大宗教を中心に，宗教のおこりや広がりを通史部分で取り上げ，宗教に対する理解が深まるようにしました。➡p.28〜29,51,73,81,90〜91,100, 122〜123,140〜141など●（防災・安全）歴史上で様々な教訓や変革をもたらした災害について学び，先人たちが乗りこえてきた経験を基に，復旧・復興や，防災・減災について主体的に考える態度を養えるようにしました。➡p.130,221,270〜271,274〜275●（情報・技術）マスメディアやインターネットの発達の過程を取り上げることで，情報化社会の歴史的な背景を捉えられるようにしました。➡p.198〜199,264〜265 |
| ⑦小学校の学習との系統的な接続を図るように配慮されているか。 | ●第1章「歴史へのとびら」には，小学校の学習指導要領に示されている人物や，小学校で学習した文化財・出来事を振り返る活動を設け，中学校での歴史学習にスムーズに導入できるようにしました。➡p.6〜7,10〜11●第2〜7章の導入の活動には，小学校で学習した人物や文化財の資料，用語を掲載してマーク（　 ）等で示し，小学校の学習内容を中心に構成した年表も配置することで，小学校での4年間の社会科学習に中学校での3年間の学習を重ねた「7年間の社会科学習」を系統的に展開できるようにしました。➡p.18〜19,62〜63,98〜99,148〜149,206〜207,250〜251**小** |
| ⑧カリキュラム・マネジメントの観点から，他分野・他教科の学習内容と関連させた学習ができるように配慮されているか。 | ●「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」に関する特設ページ（「もっと歴史」）を3分野共通で掲載することで，3分野を関連させた学習を展開できるようにしました。➡p.140〜141,198〜199,242〜243,272〜273,274〜275など●他分野と共通で掲載している資料や特設ページには，「分野関連マーク」を付すことで，並行して学習する地理的分野や第3学年で学習する公民的分野を意識した多面的・多角的な学習が展開できるようにしました。➡p.36　,85　,125　,157　,238　,270　など**3****1****8****10****6****1**●他教科と関連があるページには「他教科関連マーク」を付し，二次元コードを読み取って該当教科の教科書を参照することで，学習を多面的に深められるようにしました。➡p.15,25,57,195,274など |
| 構成・配列 | ①教材の配列は，学習しやすいように配慮されているか。 | ●各時代の学習を，「学習に興味・関心を持たせる『導入部』→学習を進める『展開部』→学習をまとめる『終結部』」の形で構造化し，学習の流れを捉えやすくしました。➡（古代の例）導入部：p.18〜19→展開部：p.20〜57→終結部：p.58〜61 |
| ②導入やまとめ，問題提起に必要な教材，学習の整理のための配慮などは，十分になされているか。 | ●第2〜7章の学習は，❶単元全体を貫く「探究課題」を立てる「導入の活動」→❷1単位時間ごとの「学習課題」を解決しながら進める「問いの追究」→❸「探究課題」を解決する「まとめの活動」の形で問いを軸にして単元を構造化し，課題解決的な学習を進めやすくしました。また，節ごとに設けた「探究のステップ」に取り組むことで，「探究課題」をスムーズに解決できるようにしました。➡（中世の例）❶導入の活動：p.62〜63→❷問いの追究：p.64〜87→❸まとめの活動：p.94〜97●第2〜7章の最後には「基礎・基本のまとめ」を設け，年表や模式図などを使って学習内容を整理することで，基礎・基本の定着を図れるようにしました。➡p.58,94,144,202,246,278●各見開きの最初に，生徒の興味・関心を引き出す「導入資料」を掲載し，「読み取る」コーナーや「考える」コーナーを設けることで，学習にスムーズに入れるようにしました。 |
| ③写真・図表その他の資料が適切に用意され，学習効果を高めるように配慮されているか。 | ●本文を補完する学習効果の高い資料を大きく掲載し，資料に付した「図番号」を本文にも付すことで，効果的に学習できるようにしました。●歴史研究の成果をふまえ，復元写真や想像図など，歴史が実感できる資料を豊富に掲載しました。➡p.20,31,34など●小さな資料は実物大で掲載し，大きな資料にはサイズを付すことで，生徒が具体的なイメージを持って学習できるようにしました。➡実物大資料：p.30,33,39,41,82,125,165,171●ICT機器を活用して利用できる「Dマークコンテンツ」を用意し，該当箇所には「Dマーク」を付すことで，学習効果が高まるようにしています。➡p.8,18,62,120,165,238など |
| 印刷・造本 | ①造本面で，生徒が使いやすい工夫がなされているか。 | ●視覚的効果が高い幅広の判型（AB判）を用い，資料を豊富に大きく掲載するとともに，写真や文字の鮮明さに留意し，見やすく印象的な紙面構成にしました。また，使用している文字の大きさや書体は適切で，読みやすいものになっています。●針金とじを用いて製本するなど，造本は堅牢で，長期間の使用にも十分耐えうるものになっています。●本文用紙は，塗料を工夫することなどで，不透明度を保ったまま紙をさらに薄くすることにより，約3.1％軽量化しました。 |
| ②特別支援教育に関わる適切な配慮がなされているか。 | ●不要な凹凸や飾りをなくした「フラットデザイン」を採用し，本文ページからはキャラクターをなくすことで，学習内容に集中できるようにしました。●紙面全体で，色覚特性がある生徒にとって見分けやすい色や，色以外の情報で見分けやすいデザインを採用しました。●教科書で使用しているすべての文字に，ユニバーサルデザインフォントを使用しました。●本文のふりがなや参照ページは，可読性を確保したうえで文字濃度を抑え，本文をより読み取りやすくしました。●資料の掲載部分の背景に色を付けて，本文部分と資料部分との区別を明確にすることで，読み取りやすさを向上させました。●小さな文字が読み取りにくい生徒に配慮し，読み取りやすいゴチック体のふりがなを採用しました。 |
| ③用紙等，環境への配慮がなされているか。 | ●用紙には，強度と発色性とをかね備えた質の高い再生紙を使用し，環境に配慮するとともに，文字や図表，写真などの資料が読み取りやすく，色映えするように工夫しています。●印刷用のインキは，環境に配慮した植物油インキを使用しています。 |